都市再生整備計画　フォローアップ報告書

藤岡北部市街地地区

平成25年　2月

群馬県藤岡市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	主要地方道寺尾藤岡線及び市道111号線の交通量	台/12h	12,463	11,216	10,495	確定		○	あり		11,087	H24年10月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	藤岡インターにアクセス可能な都市計画道路の完成により、通過交通が減少した。また交通量の減少により、歩行者が安心して歩ける空間の整備ができ安全性が向上した。
						見込み	●		なし							
指標2	バス利用者数	人/年	14,900	17,900	11,718	確定		△	あり		11,800	H24年4月	△	目標値の設定見込みが甘かった。	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 ■ 新たに改善策をたてる	事業実施以降も利用者の減少は続いてはいるものの、バス運行改善事業等の実施により下げ幅はゆるやかになりつつある。
						見込み	●		なし	●						
指標3	まちづくり満足度	%	33	50	18	確定	●	×	あり			H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地域に密着した整備が多く、直接影響を受ける人が限られてしまうため、全体での満足度につながらなかった。しかし、道路の満足度は大きく改善し、自由意見でも「今後も道路整備を進めてほしい」との意見を多く頂いた。
						見込み			なし	●						
指標4						確定			あり			H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							
指標5						確定			あり			H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							

事後評価シート　様式2－1及び添付様式2－①から転記　※全ての指標について記入　　※フォローアップの必要のある指標について記入　　※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	浸水空間の解消面積	ha	－		73.6	確定	●				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	総合学習センター広場及び調整池の整備を行い、集水エリアを拡大させると共に都市計画道路小林立石線などの工事に合わせて水路の整備を行ったため、地域の安心・安全性が向上した。
						見込み									
その他の数値指標2 その他の数値指標3	まちづくり改善度	%	－		32	確定	●				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	暮らしやすさが、事業実施前より約1/3の市民が改善したと感じている。
						見込み									

事後評価シート　様式2－1及び添付様式2－②から転記　※全ての指標について記入　　※フォローアップの必要のある指標について記入　　※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート　添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題　その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	市街地を中心とした道路整備	・都市計画道路北部環状線L=515mの事業認可を受けた。 ・都市計画道路藤岡インターチェンジ北口線L=319mの事業認可を受けた。	・都市計画道路北部環状線は平成29年度末供用開始を目途に事業実施中。 ・都市計画道路藤岡インターチェンジ北口線は平成28年度末供用開始を目途に事業実施中。	都市計画道路の整備により市街地の渋滞緩和と安全で利便性の高い道路環境を実現する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他　必要な改善策	歩行者空間の整備・改善	・群馬藤岡駅周辺バリアフリー事業として平成24年度から市道6路線L=2，020mの歩道をマウンドアップからセミフラットに改修している。	・藤岡市街地地区都市再生整備計画として平成28年度末を目途に実施中。	・歩行者の安心・安全を確保したルートの拡充
	公共交通の満足度向上	・利用者アンケートを実施し、運行本数を効率よく増やすため北回り・南回りの2系統の運行方式を1系統に統合し同一ルートを30分ずらして左回り・右回りで運行する交互通行方式に変えてルートの整理を行い、時刻表の改正を行った。 ・運行車両の愛称募集を行い新たな名称「めぐるん」を採用し停留所の掲示板を更新した。 ・改正した時刻表を市内世帯に毎戸配布した。	・乗り継ぎがなくなったことで利用者の金銭負担が軽減された。 ・利用者が目的に沿った経路を選択でき、移動時間が大幅に短縮された。 ・利用者から利便性が良くなったと評価されている。　・利用者数も平成23年の調査より増加している。	・利用者からの改善提案を関係機関と連携し速やかに解決を図る。 ・運行ルートや停留所位置等の周知を図り高齢者、交通弱者の移動支援を図る。
	災害に強いまちづくり	・中心市街地雨水排水対策事業として平成24年度から排水路整備の詳細設計L=800mを実施した。	平成25年度に事業を実施する予定	・道路の整備や改良に伴った排水路の整備 ・主要公共公益施設等の耐震改修の推進

事後評価シート　添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題　その他特記事項
・バス乗降調査によるニーズの把握	・定期的な利用者アンケートの実施	25年度以降	
・バス事業のPR活動	・時刻表を毎戸配布する。	25年度以降毎年	

都市再生整備計画（清算報告）

藤岡北部市街地地区

ふじおかほくぶしがいち

群馬県　藤岡市

ぐんま　ふじおかし

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	群馬県	市町村名	藤岡市	地区名	藤岡北部市街地地区	面積	936 ha

計画期間	平成 19 年度 ～ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ～ 平成 23 年度

目標

大目標：安心・安全・快適なまち藤岡の形成

①藤岡インターへのアクセス道路の整備と歩行者が安心して歩ける空間の整備
②市街地内の慢性的な排水不良の改善による災害防止への対応
③市内循環バス（北回り）・高速バス・鉄道等の公共交通の乗り継ぎ改善による利便性の向上及び街区公園内トイレの水洗化による都市施設の充実

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・まちづくりの経緯

当市は、藤岡インター開通により関越自動車道・上信越自動車道・北関東自動車道が交差する交通の要衝となり、利便性を活かしたまちづくりを目標に掲げており、平成9年都市マスタープランを策定し、藤岡インター周辺を含む土地利用構想にそって、工業専用地域指定や街路事業ならびに北藤岡駅周辺土地区画整理事業を進めている。

また、藤岡市ふれあい健康福祉都市宣言（平成6年12月）では、「緑と清流に恵まれた豊かな自然の中で、だれもが心身ともに健康で暮らせるまち、やすらぎのあるあたたかい福祉のまち」を掲げて全市民の社会参加を目指している。こうしたなか、江戸時代に建てられた旧高山邸の寄付（平成14年12月）を受け、特産品である「藤岡瓦」や「鬼石三波石」をモチーフに市民交流の拠点として活用する新たなまちづくりも進めている。

・現況

当市の道路事情は、高速自動車網の整備に市街地内幹線道路の整備が追いつかず、藤岡インターへの広域交通が市街地内または集落内道路に流入しており、水路事情については、街区公園内トイレの衛生上の問題、一部市街地内の排水不良により水路が氾濫し、市民の安全な暮らしを脅かす状況にある。

また、中心市街地の活性化の1施策と位置づける「市民交流の拠点づくり」を進めるものの、市民の日常生活や社会参加を支えるバス交通は公共交通間の乗り継ぎや運行の非効率、運行回数の少なさから利用率が低く、バス事業者への助成が大きな財政負担となっている。平成18年度にバス路線網検討に着手し、デマンドバスシステム等の利用効率改善策の検討を行い、サービス水準と運行内容の効率化に取り組む予定である。

課題

・広域交通の市街地・集落内流入の改善

都市計画道路小林立石線(22m)及び中上大塚線(14m)が一部未整備なため、藤岡インターを利用する広域交通が市街地内へ流入しており、歩行者の安全性確保の観点から都市計画道路の早急な整備が課題となっている。また、市民の安全対策となる生活道路や通学路の拡幅や改良が課題である。

・路線バス及び市内循環バスの利便性向上

市民が健康的・文化的な暮らしや社会参加を支援するバス運行は、郊外からの路線バス（3系統）と市内循環バスが運行されている。路線バス運行は3～11便／日、市内循環バス運行は10便／日（片方向運行）で、運行本数・路線が市民ニーズに対応できていない。利用率は改善されているものの(H14:3.8人／台、H15:4.2人／台、H16:4.6人／台)、更なる利用率向上に向けた取り組みの改善が課題となっている。また、旧高山邸の活用（世界遺産登録も含む）も検討されており、市民や来訪者における公共交通の乗り継ぎの円滑化が求められている。

・排水路等の整備による防災強化

地区のほぼ中央を流れる温井川上流部及び(仮称)総合学習センター周辺など、市街地内の一部水路は脆弱であり、降雨時には慢性的な水害が発生しており、安全な市民生活の確保と災害防止のため、早急な雨水対策が求められている。

将来ビジョン（中長期）

・藤岡市ふれあい健康福祉都市宣言（平成6年12月）

「緑と清流に恵まれた豊かな自然の中で、だれもが心身ともに健康で暮らせるまち、やすらぎのあるあたたかい福祉のまち」を挙げている。

・第3次藤岡総合計画（平成8年度）

生活感動のあるまち「交流文化都市ふじおか」の創造を掲げており、将来都市像実現に向けた主要施策のひとつに「人・物・情報が交流する活力ある都市づくり」を挙げている。

・都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（平成16年5月　群馬県）

群馬県の都市づくりの基本理念を「豊かな田園と自然環境・美しい景観と文化が感じられる都市」とし、その中で藤岡都市計画区域における都市づくりの目標のひとつに「広域都市圏における都市活動に資するとともに、広域交通ネットワークを活かした生活、産業、文化、交流の創造による都市づくり」を挙げている。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 主要地方道寺尾藤岡線及び市道111号線の交通量	台／12h	藤岡I.C.へのアクセス道路となっている道路の交通量	都市計画道路小林立石線及び中上大塚線を整備することにより、市街地内を通る通過交通の1割削減を目指す。	12,463台／12h	平成17年	11,216台／12h	平成23年度
2. バス利用者数	人/年	市内循環バスの年間利用者数	現状の1系統を2系統に改善し、現在の2割増の利用者数を目指す。 (従前および目標数値は、市内循環バス(北回り)・市内循環バス(南回り)の合計数値)	14,900人／年	平成17年度	17,900人／年	平成23年度
3. まちづくり満足度	%	平成18年アンケート	安全性や快適性に関するアンケート調査を実施し、まちづくりに対する満足度について、現状の33%に対し、50%以上を目指す。	33%	平成19年度	50%	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・整備方針1「安心して歩けるまちづくり」 藤岡インターへの通過交通が市街地内に流入しているため、都市計画道路（小林立石線（22m）は県道下栗須馬庭停車場線までの区間を、、中上大塚線(14m）は主要地方道寺尾藤岡線までの区間を整備するとともに、これら都市計画道路と交差する幹線道路との交差部において円滑な交通処理を行うための交差点改良を行う。 また、北藤岡駅北側の踏切や通学路においても拡幅や改良を行うとともに、(仮称)総合学習センターにおける市街地内の新たな憩いの場を提供し、利用者等が安心して歩ける外周道路の整備を進める。	街路 小林立石線(W=22～25m,L=381m）整備事業［基幹事業］ 中上大塚線(W=14～17m,L=832m)整備事業［基幹事業］ 道路 市道106号線(W=7.5m,L=80m)踏切拡幅事業［基幹事業］ 市道4176号線(W=5.5m,L=250m)道路改良事業［基幹事業］ 市道2501号線(W=5.0m,L=200m)道路改良事業［基幹事業］ 市道103号線(W=11～13m,L=100m)交差点改良工事［基幹事業］ 市道111号線(W=11m～14m,L=100m)交差点改良工事［基幹事業］ (仮称)総合学習センター外周道路(W=6～11m,L=1,000m)整備工事［基幹事業］
・整備方針2「排水路整備等による防災強化」 慢性的な水路氾濫の解消と災害防止のため、一部市街地内の排水路等の改良・整備を進める。 地域防災計画に避難所として位置付いている総合学習センター多目的調整池の整備を行うものである。	地域生活基盤施設 （仮称)総合学習センター多目的調整池(A=2,200㎡,V=1,720t)整備工事［基幹事業］ 地域創造支援事業 排水(W=1000×1000㎜,L=550m、W=600×600㎜,L=260m)対策事業[提案事業]
・整備方針3「バス事業の運行サービスと運行経費の改善、公園施設及び北藤岡駅前の機能充実による快適なまちづくり」 デマンドバス検討調査に基づき、市内循環バス（北回り）の運行経路並びに運行本数見直しを行い、市民の利便性向上に寄与するサービス水準を確保する。 また、市街化区域内の街区公園内トイレの水洗化、(仮称)総合学習センターにおける広場整備や、北藤岡駅駅前広場整備に伴う交通結節点の機能充実と利便性向上のため、バリアフリートイレの整備を進める。	公園 水洗化(排水L=50m,トイレ改修1棟)整備工事[基幹事業] 地域生活基盤施設 （仮称）総合学習センター広場（A=13,350㎡）整備工事［基幹事業］ 高質空間形成施設 （仮称）北藤岡駅バリアフリートイレ（新設1棟）整備工事［基幹事業］ 地域創造支援事業 （仮称）バス停留所改善事業[提案事業] 事業活用調査 （仮称）市内循環バス（北回り）デマンド社会実験［提案事業］ まちづくり活動推進事業 （仮称）デマンドバス社会実験PR活動［提案事業］ （仮称）都市再生整備計画事後評価検討調査［提案事業］

その他

藤岡市路線バス調査

平成18年6月、「藤岡市路線バス活性化検討委員会」を立ち上げ、体験乗車会・路線バス等に対するアンケートを踏まえ、地域住民と交通事業者等が協働して藤岡市路線バス活性化に取り組んでいる。

藤岡高校跡地整備基本計画調査

群馬県立藤岡高等学校の統廃合に伴い、同校跡地を本市の教育関係の拠点施設として整備活用するため、平成17年6月、「群馬県立藤岡高等学校跡地利用検討委員会」を立ち上げ、跡地利用方針について提言書として同年11月に提出した。

本計画は、提言書に基づき建物及び敷地の再利用計画を検討し、平成22年の供用開始を目指し、次年度以降の実施計画等に必要となる施設整備と基盤整備の条件整理等を行い、平成20年3月に基本計画として取りまとめている。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,545	交付限度額	628.8	国費率	0.407

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度	(参考)事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
街路		都市計画道路小林立石線	藤岡市	直	W=22～25m,L=381m	S52	H20	H19	H20	231	231	231		231
		都市計画道路中上大塚線	藤岡市	直	W=14～17m,L=832m	H3	H21	H19	H21	551	551	551		551
道路		市道106号線	藤岡市	直	W=7.5m,L=80m	H22	H22	H22	H22	180	180	180		180
		市道4176号線	藤岡市	直	W=5.5m,L=250m	H20	H21	H20	H21	10	10	10		10
		市道2501号線	藤岡市	直	W=5.0m,L=200m	H20	H22	H20	H22	34	34	34		34
		市道103号線	藤岡市	直	W=11～13m,L=100m	H22	H23	H22	H23	32	32	32		32
		市道111号線	藤岡市	直	W=11～14m,L=100m	H21	H21	H21	H21	68	68	68		68
		市道6015号線 ((仮称)総合学習センター外周道路)	藤岡市	直	W=9～11m,L=490m	H22	H22	H22	H22	57	57	57		57
		市道6019号線 ((仮称)総合学習センター外周道路)	藤岡市	直	W=6.0m,L=360m	H22	H22	H22	H22	43	43	43		43
		市道214号線 ((仮称)総合学習センター外周道路)	藤岡市	直	W=6.0m,L=150m	H22	H22	H22	H22	16	16	16		16
公園		旭公園	藤岡市	直	L=50m	H21	H21	H21	H21	2	2	2		2
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		―			―									
地域生活基盤施設		―	藤岡市	直	―	H21	H21	H21	H21	231	231	231		231
高質空間形成施設		―	藤岡市	直	―	H21	H21	H21	H21	14	14	14		14
高次都市施設		―			―									
既存建造物活用事業		―			―									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,469	1,469	1,469	0	1,469 …A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度	(参考)事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	(仮称)バス停留所改善事業	市内循環バス(北回り)路線	藤岡市	直		H22	H22	H22	H22	1	1	1		1
	排水対策事業	温井川上流	藤岡市	直	W=1000+1000,L=550m W= 600+ 600,L=260m	H23	H23	H23	H23	42	42	42		42
事業活用調査	(仮称)市内循環バス(北回り)デマンド社会実験	―	藤岡市	直	―	H20	H23	H20	H23	29	29	29		29
まちづくり活動推進事業	(仮称)デマンドバス社会実験PR活動	―	藤岡市	直	―	H19	H19	H19	H19	1	1	1		1
	(仮称)都市再生整備計画事後評価検討調査	―	藤岡市	直	―	H23	H23	H23	H23	3	3	3		3
合計										76	76	76	0	76 …B
													合計(A+B)	1,545

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○) 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	終了年度	全体事業費
北藤岡駅周辺土地区画整理事業	北藤岡駅南・東側	藤岡市	国土交通省	25.2ha		○			H8	H31	6,100
藤岡市路線バス調査	藤岡市内	藤岡市	単独	5系統			○		H18	H18	3
(仮称)路線バスデマンド社会実験 (対象路線:市内循環バス(南回り)・高山線・上平線・妹ヶ谷線)	藤岡市内	藤岡市	単独	4系統			○		H19	H22	23
藤岡パーキング活性化調査	ハイウェイオアシス	藤岡市	単独				○		H20	H20	2
藤岡高校跡地整備基本計画調査	(仮称)総合学習センター	藤岡市	単独	4.5ha			○		H19	H19	4
(仮称)バス運行改善事業(緊急経済対策地域活性化事業)	市内循環バス(北回り)路線	藤岡市	総務省			○			H21	H21	20
(仮称)北藤岡駅自転車駐輪場改善工事	北藤岡駅駅前広場	藤岡市	単独	176台			○		H24	H24	5
合計											6,157